

* 接種希望の方は太ワク内にご記入ください。

藤枝市 おたふくかぜワクチン 任意接種予診票

				診察前の体温	度	分	
住 所	藤枝市			電話番号			
フリガナ				生年月日	年	月	
予防接種を受ける者の氏名					日	生	
保護者の氏名			続柄		(満 歳 か月)		

質 問 事 項	回答欄		医師記入欄
今日受ける予防接種について裏面の説明文を読み、理解しましたか	はい	いいえ	
あなたのお子さんの発育歴についておたずねします 出生体重 () g 分娩時に異常がありましたか 出生後に異常がありましたか 乳幼児健診で異常があるといわれたことがありますか	あった あった ある	なかった なかった ない	
今日、体に具合の悪いところがありますか 具体的な症状をご記入ください ()	はい	いいえ	
最近1か月以内に病気にかかりましたか 病名 ()	はい	いいえ	
最近1か月以内に予防接種を受けましたか 予防接種名 () 接種日 (月 日)	はい	いいえ	
最近1か月以内に家族や遊び仲間に麻疹、風しん、水痘、おたふくかぜなどの病気の方がいましたか 病名 () 誰が () いつ頃 ()	はい	いいえ	
生まれてから今まで先天性異常、心臓、腎臓、肝臓、脳神経、免疫不全症、その他の病気にかかり、医師の診察を受けていますか 病名 ()	はい	いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてもよいと言われましたか	はい	いいえ	
ひきつけ(けいれん)をおこしたことがありますか () 歳頃	はい	いいえ	
そのとき熱がでましたか	はい	いいえ	
薬や食品で皮膚に発疹やしんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか	はい	いいえ	
近親者に先天性免疫不全と診断されている方はいますか	はい	いいえ	
これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことはありますか 予防接種名 () いつ頃 () 症状 ()	はい	いいえ	
近親者に予防接種を受けて具合が悪くなった方はいますか	はい	いいえ	
6か月以内に輸血あるいはガンマグロブリンの注射を受けましたか*	はい	いいえ	
今日の予防接種について質問がありますか	はい	いいえ	

医師記入欄

以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は (実施できる ・ 見合わせた方がよい) と判断します。
 保護者に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度 (裏面) などについて説明をしました。

医師署名又は記名押印

保護者記入欄

医師の診察・説明を受け、予防接種の効果や副反応の可能性、予防接種健康被害救済制度 (裏面) などについて理解した上で、接種することに (同意します ・ 同意しません) ※かつこのどちらかを○で囲んでください。
 この予診票は、予防接種の安全性の確保を目的としています。このことを理解の上、本予診票が市に提出されることに同意します。

保護者自署

使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日
ワクチン名 Lot No	(皮下接種)	実施場所 医師名
(注) 有効期限が切れていないか要確認	0.5ml	接種年月日 年 月 日

※ガンマグロブリンは、血液製剤の一種で、A型肝炎などの感染症の予防目的や重症の感染症の治療目的などで注射されることがあり、この注射を3～6か月以内に受けた方は、予防接種の効果が十分に出ないことがあります。

おたふくかぜワクチン予防接種を受ける人へ

おたふくかぜとその症状

おたふくかぜは、流行性耳下腺炎あるいはムンプスとも呼ばれ、ムンプスウイルスの感染によっておこる全身性感染症です。潜伏期間は2～3週間で、軽度の発熱と耳の痛みで始まり、耳の下（耳下腺）のはれが顕著になりますが、その症状は通常5～7日で回復に向かいます。

合併症で最も多いのが無菌性髄膜炎（症状としては発熱、頭痛、嘔吐）で約10人に1人、ムンプス難聴が約1,000人に1人、脳炎（症状としては発熱持続、けいれん、意識障害）が5～6,000人に1人と報告されています。難聴は、発症すると聴力の回復は困難です。

予防接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）がある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっている人
- ③ 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシー（通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと）を起こしたことがある人
- ④ その他、医師に予防接種を受けない方がよいと言われた人

予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな人
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた人及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状がみられた人
- ③ 今までにけいれんを起こしたことがある人
- ④ 今までに、免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑤ 接種液の成分に対しアレルギーを起こすおそれのある人

予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ① 接種後の30分間は、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
- ② 接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は過激な運動を避けましょう。
- ③ 接種当日の入浴は差し支えありません。接種部位をこすることはやめましょう。
- ④ 接種後4週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ⑤ 接種後、接種部位の異常反応や体調の変化がある場合は速やかに医師の診察を受けましょう。

おたふくかぜワクチンの効果

おたふくかぜワクチンは弱毒生ワクチンで、身体の中でワクチンウイルスが増えて抗体ができます。抗体は、ワクチンを接種した90%前後の人にでき、接種後2週間後から免疫ができます。

予防接種後に起こる可能性のある症状（副反応）について

軽い副反応としては、発熱、耳下腺の腫れを認めることがありますが、接種年齢が高いほど頻度が高いと言われています。通常、軽微かつ一過性であり、軽快します。接種部位の発赤・腫脹を認めることがありますが、これも一過性であり数日で軽快します。無菌性髄膜炎（発熱・頭痛・嘔吐等の症状がみられる）は、数千人に1人程度発生するとの報告がありますが、症状は比較的軽く一部の例外を除き後遺症は残りません。また、自然感染による髄膜炎の発生頻度（1.24%）と比較するとワクチンによりおたふくかぜを予防する方がリスクは低いと考えられます。

予防接種による健康被害救済制度について

任意接種を受けて、万が一健康被害が起きた場合には、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法による救済の対象となる場合があります。補償額は定期接種よりも低いですが、市で加入している保険により、定期接種とほぼ同額の補償を受けることができるようになっています。藤枝市が指定する医療機関でなくても、接種を受ける前までに、藤枝市に接種する医療機関を申請し、市が発行した予防接種実施依頼書を持って接種する場合は同じ扱いとなります。

※予防接種後の健康被害についての相談は、診察した医師または藤枝市感染症対策課へご相談ください。